

実を結ぶ聖潔の福音

イスラエルに蒔かれた聖潔の福音が実を結んでいる現場を確認した宣教出張のニュース。

喜びの実

すべてにおいて御霊によって歩み、喜びと感謝の種をまめに蒔いてこそ多くの実を結べる。

神が下さった蒔いて刈り取る法則

主にあつて正しく蒔いてこそ良い実を刈り取れる。蒔いて刈り取る八つの秘訣を紹介する。

支教会1月スケジュール

「幸せ、喜び、感謝あふれ〜」

韓国のチェ・ベクホ執事の脳梗塞後遺症からの回復、タイのアヌラクワタナクン聖徒のいやしと家族福音化の証し。

# 万民ニュース

第158号 2015. 12. 27.

## MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

## イスラエル牧会者セミナーとハンカチ集会



堂会長イ・ジェロク牧師に祈りを受けて神の力が込められたハンカチによる集会で、講師イ・スジン牧師(写真1)が全体ののために祈るとすぐ多くの人がいやされ、証して神に栄光を帰した(写真2,3,6)。主催のクリスマスフォーラムはイ・スジン牧師に感謝の盾を贈呈(写真4)。イスラエルの牧会者の心に熱い聖霊の火をつけた牧会者セミナー(写真5,7,10)、ハン・ジュギョン賛美宣教師とグローリーワーシップチーム(写真8、9)

今年10月29日(木)、イスラエルのキブツ・シェファイム・ホールでクリスタルフォーラム(イスラエル牧会者協議会)主催により開かれた牧会者セミナーには、イスラエル、ロシア、フィンランド、イギリスなどから多くの牧会者が参加した。

この日、講師イ・スジン牧師(万民中央教会教職者会長)は「聖め」というタイトルで罪について説明、聖められるための祈りの重要性を強調し、祈る方法についても伝えた。

同牧師は「牧会者が罪を捨てて聖められなければなりません。それでこそ上から力を授かって、聖徒を正しく導けるし、教会がリバイバルして祝福されることができます」と語った。

セミナー後、ある牧会者は「本当に必要なメッセージでした。心が霊的にいや

されました」と語り、別の牧会者は「聖潔の福音の真髄を悟りました。聖められて力ある牧会者になりたいです」と述べた。また別の牧会者は「イ・ジェロク先生は私たちが出会った最高の師であり霊的な父です」と告白した。ブラジミール・オンポフ牧師(イエス・キリスト・ロシア連合聖潔会総会長)は「罪のはびこったこの時代に聖潔の福音が伝えられていることが尊いです」と感謝の意を表した。

10月30日(金)にはハンカチ集会(使徒19:11~12)が開かれ、会場は満員だった。イ・ジェロク牧師の祈りで現れた神の力あるわざを紹介するビデオ「神の力」(The Power of God)が上映され、病気がいやされた証しがあるたびに拍手が湧き起こって、神に栄光を帰した。

続いて万民中央教会の芸能委員会副

委員長ハン・ジュギョン賛美宣教師がヘブライ語、ロシア語、英語などで賛美し、グローリーワーシップチームがイスラエル伝統舞踊を披露した。ハン宣教師が会衆賛美を導くと、多くの人涙を流し、イスラエルを救っておられる神をほめたたえた。

講師イ・スジン牧師は「神を見つけるには」というタイトルで、切に神を捜すべきであり、みことばと祈り、賛美と礼拝を通して生ける神を見つけられると伝えた。続いていやしの祈りをするとうまく多くの人がいやされて、証しをするために講壇に上がってきた。様々ながんや関節炎や腰の痛みがいやされ、自由に歩けなかった人が歩けるようになり、てんかん、自閉症、ダウン症も好転した。

10月31日(土)にはエルサレム「栄光の

王教会」の新聖殿入堂礼拝があり、イ・スジン牧師は「十人の娘のたとえ」というメッセージを取り次いだ。また、10月28日(水)にはクリスタルフォーラム創立7周年記念行事が行われた。

クリスタルフォーラムは2007年7月から始まったイ・ジェロク牧師のイスラエル宣教を通して霊的な大胆さを得た牧会者たちが設立した。毎年ハンカチ集会、牧会者セミナー、賛美フェスティバル、青少年キャンプ、子どもキャンプ、夫婦セミナーなど多様な活動をしている。

2009年9月にイ・ジェロク牧師はエルサレム国際コンベンションセンターで連合大聖会を導いたが、これ以後、クリスタルフォーラムの牧会者たちは活発に世界の国々に聖潔の福音を伝え、影響力ある団体へと成長している。

# 喜びの実



堂会長イ・ジェロク牧師

「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。」  
(ガラテヤ5:22~23)

イエス・キリストを受け入れた人は誰でも聖霊を賜物として受けて、神の子どもとして新しく生まれる。そして、御霊によって霊を生み、御霊に導かれて真理に従って行くほど、御霊の実を結ぶようになる。私たちの心に御霊の九つの実が豊かに結ばれれば、最も美しい天国である新しいエルサレムに入れる。

それでは、二番目の実である喜びについて調べてみよう。

## 1. どんな状況でもいつも喜んでうれしく思う喜びの実

「喜び」の辞書での意味は「よろこぶこと。うれしく思うこと」である。霊的な意味では、単に喜んでうれしく思うことではない。世の人も良いことがあると喜ぶが、問題が起これば喜びが消えてしまう。御霊の実である喜びが心に結ばれているなら、どんな状況でもいつも喜んでうれしく思うことができるのだ。

〈第一テサロニケ5:16~18〉に「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」とある。まさに喜びの霊的な意味は「いつも喜んでいて、すべての事について感謝すること」なのだ。

「喜びの実」は自分が正しい信仰生活をしているのかを簡単に測れる基準の一つである。ある人はうれしく幸せそうに主の道歩んでいる一方、熱心に信仰生活をしているようだが、いざというとき喜びや感謝はあまりない人がいる。ただ任されたことを無感動にしている、何か困ったことにあえばすぐ平安を失って不安になり、いらいらする。ひょっとして大変なことが起こった時でも心から喜んでいいのか、自分を顧みてみるように。

神の子どもは救われた恵みだけでもいつも喜んでいられる。永遠に苦しみを受けるべきだった地獄の火から救い出され、美しい天国に入るようになったことだけでも、その幸せは言葉に尽くせない。主を受け入れたばかりの人は初めの愛の喜びで満ちている。すぐ明日の糧がなくても、いくら大変な仕事で疲れている時でも、口から賛美があふれる。主の御名によって迫害されたり、わけもなく困難にあっても、天国を思うと幸せになる。

ところが、現実として、初めの愛の喜びを維持している人が多くはない。歳月が流れれば喜びが消えてしまい、救いの恵みを思っても、以前のような感激が押し寄せるのではないのだ。つらいことがあれば、ため息と嘆きが出てくる。

それなら、どうしてこのように変わってしまうのだろうか？それは心に「肉」があるからだ。「肉」の代表的な特徴は「移り変わること」である。肉の属性を持っている人は喜びがあふれていても、ある瞬間に変わってしまい、喜びが消えるのだ。

## 2. 喜びの実を結ぶには

### 1) 肉を脱ぎ捨てなければならない

心に「ねたみ、そねみ」という肉の属性がなければ、相手が祝福されてほめられるのを見ると、自分のことのように喜べる。しかし、ねたみ、そねみがあれば、相手がうまいくなら心が穏やかでなくなり、自分は低くなるようなので、喜びを失って気を落としたり苦しんだりする。

また、心に「憤り」や「むなしさ」がない

ならば、礼儀に反することにあたり、被害をこうむっても、心が平安である。だが、自分の中に肉があれば、わかってもらえないからむなしくなると悔しくなり、そのため気が重くてつらくなる。自分の利益を求めると心があるから、自分が他人より損をしているようなので、悔しがって苦しむのだ。

このように肉があるかぎり霊の信仰を持ってないので、神により頼むこともできず、憂いと心配が増えていく。事業をする時も、聖霊の声を聞けばすべてが栄えて祝福があふれるはずなのに、欲と焦り、肉の思いによって困難が生じる。私たちの心から肉を脱ぎ捨てるほど霊的な喜びと感謝が臨み、すべてにおいて栄えるようになる。

### 2) すべての点で御霊によって歩まなければならない

私たちが求める喜びは世の喜びでなく、上から来る、すなわち、御霊による喜びである。自分のうちにおられる御霊が喜ばれる時こそ、喜びと満ちしを感じることができるのだ。神を心から礼拝して祈って賛美するとき、みことばを守り行うとき、以前とは違って真理に変えられている自分の姿を発見するとき、幸せで感謝するようになる。

私たちは暮らしの中で、御霊によって歩むこともあり、肉の願うことに従うこともある。だが、御霊によって歩むと御霊が喜ばれるので、私たちの中に喜びが満たされる。〈第三ヨハネ1:4〉に「私の子どもたちが真理に歩んでいることを聞くことほど、私にとって大きな喜びはありません。」とある。このみことばのように、私たちが真理に歩んでいると神が喜ばれ、御霊に満たされるようにして喜びを下さるからだ。

たとえば、自分の利益を求めると相手の利益を求めると心と相手の利益を求めると、御霊に満たされなくなる。そのうち肉に従って自分の利益を求めると、当座は良く見えるが、霊的な喜びは臨まない。かえって心が苦しくて、何か気が重くなる。反対に、相手の利益を求めると、肉的には自分が損をしているように見えても、御霊が喜ばれるので上から喜びが臨む。このような喜びは味わってみたいことのある人だけがわかる。世は与えることも知ることもできない幸せである。

すべてにおいて同じである。前は自分の基準に合わせて相手を量っていた人

が、心を変えて善をもって考えるほど平安になる。また、性格や意見があまり合わない人にも、自分から笑って、相手を安らかにしようと自分に対して死ぬとき、平安と喜びが臨むのだ。一歩進んで「誰々と性格が合わない」とか「あの人が嫌い」という感じさえなければ、一瞬一瞬平安と喜びを味わうことができるのだ。このように御霊に従うなら、霊的な喜びが加えられるだけでなく、心も真理にますます変えられる。そうするほど喜びの実がぎゅぎゅ実っていき、顔には霊的な光が臨むようになるのだ。

### 3) 喜びと感謝の種をまめに蒔かなければならない

農夫が実を刈り取るためには、種を蒔いて刈り取る労苦が伴う。このように喜びの実を結ぶためには、喜びと感謝の条件を探して神にささげなければならない。信仰がある神の子どもなら、毎日喜ぶことがどれほど多いだろうか。

まず何をもってしても取り替えることのできない救いの喜びがある。また、すばらしい神が私たちの父であり、真理に歩んでいる子どもたちを守って、求めることは何でも答えてくださる。主日を完全に守って十分の一献金をことごとくささげるだけでも、一年中事故や災いにあわないようにして下さる。罪を犯さないで、戒めを守って忠実に仕える人には祝福があふれる。

たとえ何かの困難に置かれていても、問題の解決方法がみことばにあるので感謝する。もし過ちを犯したなら、悔い改めて立ち返れば神の憐れみをいただくことができるし、自分の心に責められることがないなら、さらに喜んで感謝すればよい(第一ヨハネ3:21)。すると神がすべてを働かせて益としてくださり、さらに大きい祝福を下さる。

このように感謝の条件を探して喜ぶ時に、神はより多くの感謝の条件を与えられる。ますます感謝と喜びが大きくなって、ついに喜びの実を完全に結ぶことができるのだ。

愛する聖徒の皆さん、最も美しい天国である新しいエルサレムに入るには、喜びの実を結んで、毎日喜んでうれしく思う生き方をしなければなりません。御霊の九つの実を豊かに結んで、神が下さる最高の喜びを永遠に味わわれるよう、主の御名によって祝福して祈る。



Tel: 82-2-818-7063  
Fax: 82-2-818-7048  
www.manmin.org  
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107  
Fax: 82-2-813-7107  
www.gcnetv.org  
e-mail: webmaster@gcnetv.org



Tel: 82-2-818-7039  
Fax: 82-2-830-5239  
www.wcdn.org  
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク  
編集者: ビン・グンソン  
www.manmin.org/Japanese  
www.manminnews.com  
編集発行: 万民中央教会  
〒152-848 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29  
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

# 祝福の種を蒔いて刈り取る八つの秘訣

神は愛する子どもたちに、たましいに幸いを得ている祝福、すべての点でも幸いを得、また健康である祝福を与えることを望んでおられる。ところで、神の公義は蒔けばその刈り取るもするというであり、蒔くとしてもその方法を知って正しく蒔いてこそ良い実を刈り取れる。はたして神が喜んで祝福なさる方法は何か、八つの秘訣を紹介する。



## 1. 心の割礼をして 肥沃な心の地を備える

何かを蒔いても、実として刈り取るためには、必ず信仰によって蒔くものの、信仰が大きいほど豊かな実を刈り取ることができる。ところで、心が聖められたほど、神が大きい信仰を下さる。つまり、心を割礼して罪と悪を脱ぎ捨てるほど信仰が成長して、大きい祝福をいただけるのだ。したがって、物質の祝福はもちろん、心の願い求めまで答えられるためには、何より心の割礼をしなければならぬ。〈第三ヨハネ2〉にあるとおり、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康である祝福が臨むからだ。



## 2. 良い種、すなわち完全に主日を守ることと 十分一の献金をことごとく蒔く

主日を守るとは神の霊的主権を認めるということであり、イエス・キリストを信じる神の子どもであることを証しする最小限の行いだ。十分の一献金は、収入の十分の一を神の御前にささげること、すべての物的な分野で神の主権を認める行いだ。これを通して神の主権を認め、信仰によって求める時こそ、神も祝福を与えることがおできになる。これを行わなければ、敵である悪魔・サタンが試練や患難をもたらしても、守ってくださることがおできにならないからだ。



## 3. 欲を捨てて 神の栄光のために求める

むさぼりがあれば、不労所得や一攫千金の誘惑に乗り気になってだまされやすい。したがって、むさぼりを捨てて(マタイ6:24)、この地上で手に入れて楽しむとする欲からではなく、神の栄光のために求めなければならない。そのためには自分のものではないならば欲しがるはならず、目標を定めて神に求めるものの、公義にかなうように祈って、御霊に働きかけられなければならない。自分の意欲が先立って、何が何でも全部やりたい心は御霊の声を妨げる欲になることがある(ヤコブ4:2~3)。



## 4. 信仰によって正道を歩んで 誠実に働く

神のことばどおり生きながら正道を歩んで誠実を尽くせば、必ず神が報いてくださる(コロサイ3:23~24)。一方、いくら真理をたくさん知ってよく祈るとしても、正道を歩まなければ、神が祝福をお与えになれない。人の前でも正直で誠実な人でこそ、神の御前に真実だと認められることができるからだ。特に心に留めることは、教会の中で信仰の兄弟間で金銭の取引をしてはならず、決して保証人になってはならないことだ(箴言6:1~5, 11:15, 22:26)。祝福されるためにはもちろん、災いを避けるためにも、このようなことがあってはならない。



## 5. まめに豊かな種を蒔いて 豊かに刈り取る

〈第二コリント9:6~7〉に「私はこう考えます。少しだけ蒔く者は、少しだけ刈り取り、豊かに蒔く者は、豊かに刈り取ります。ひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛してくださいます。」とある。広い土地を持っている農夫だとしても、蒔いた分、刈り取ることができる。霊的にも、まめに豊かに蒔く時こそ、その祝福をはっきり実感できる。ところで「豊かに蒔く」という意味は単に大きい金額のことだけではない。神が受けようとされるのは物質そのものでなく、心の香だからだ。



## 6. 最後まで信仰と行いに 移り変わりがない

農夫が種を蒔いておいて、願う実が見えないからといって土をひっくり返してしまうなら、その間の労苦が無駄になるだろう。このように神の御前に蒔いて育てておいて、願うとおりに刈り取れなければ不平を言って、信仰によって求めて行くことを全くやめてしまうならば、実を刈り取れない。信仰によって蒔いて、神に喜ばれる行いで積んだとすれば、最後まで信仰によって望まなければならない。また、神の御前に一度ささげると定めたことは必ずそのままささげなければならない(詩篇15:4; 伝道者5:4~5)。もし定めておいてそれを守らなかったとすれば、他の祝福を求める前に、まずそれから実行して罪の壁を壊さなければならない。



## 7. 神が望んでおられ 喜ばれるところに蒔く

神のみこころに従って蒔くとき、祝福される。もし罪を犯して神に懲らしめられている人に施しをするならば、かえって相手と一緒に訓練を受けることになる。また、サタンのしわざによって争いと不和があり、不正がぎっしりあるところに賛助するならば、神は祝福として刈り取るようにすることはおできにならない。したがって、主にあって賢く見分けて、神が喜ばれるところに正しく蒔かなければならない。神が喜ばれるところや、神に喜ばれる人に蒔けば、喜びをもって刈り取ることができる(マタイ10:40~42)。このように、蒔いたものはみな大いに祝福しようと望んでおられる神の御前に器を備えれば、神は三十倍、六十倍、百倍の祝福を下さるのだ。



## 8. 霊的祝福を慕って 神の国に忠実である

これは、変わらずに信仰生活を熱心にしなければならないという意味でもある。神は神の国に忠実であった人を決してお忘れにならない。霊的にまことに忠実である人ならば、体とする奉仕だけでなく、礼拝も霊とまことによってささげて、絶えず火のように祈るだろう。神を愛して熱心で忠実に仕えるとき、神も決してそれをそのまま受けてだけおられず、必ず祝福を与えて、栄光を帰すようにしてくださる。ところで、物質的な祝福の前に、まず霊的な祝福を慕わなければならない。むなしい財物に目がくらんで、神に申し訳ないことする愚かな姿があつては決してならないからだ。

### 1月支教会スケジュール

1月27日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳 承吉牧師)	1月31日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会(講師:崔ピョンラン牧師)
1月27日(水)	松本万民教会	リバイバルいやし集会(講師:伊藤正明牧師)	1月31日(日)	沖縄万民教会	権能いやし聖会(講師:山下好美牧師)
1月31日(日)	名古屋万民教会	癒しの集い(講師:時國みや子牧師)			

# 「脳梗塞で半身不随だった私を いやしてくださいました」

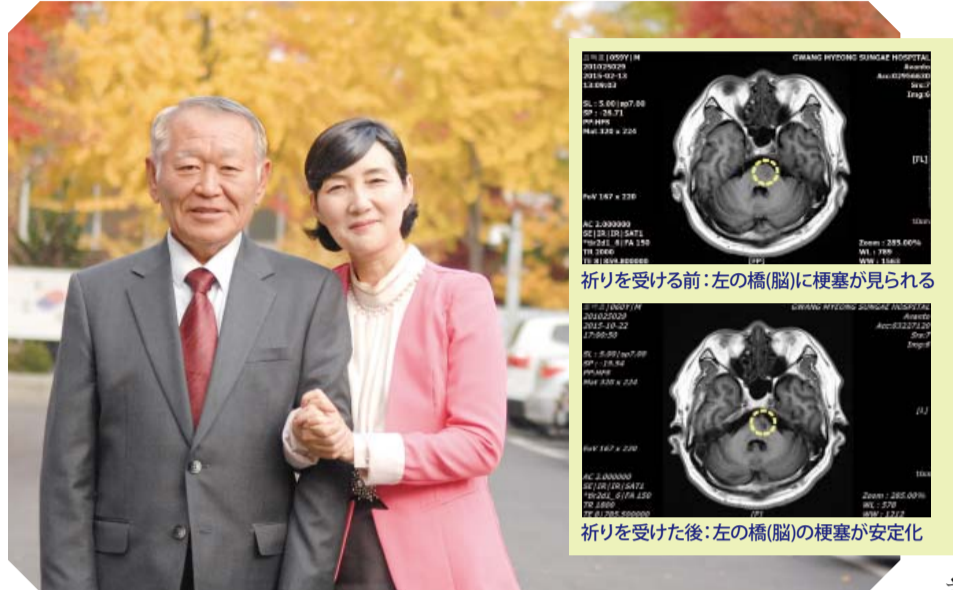
2015年2月11日、昼から腕と脚がしびれて頭が痛くなり始めると、昼食をとろうとしても箸とスプーンがつかめませんでした。病院に行って診療受付をしている間には体が麻痺し始め、車椅子に乗ったまま診療室に入らなければならませんでした。

医師は脳梗塞ですと言って、すぐに私を集中治療室に移しました。麻痺はますます深刻になり、三日目に右側が完全に麻痺して指一本動かせなかったし、ひとりの力では座って立つこともできませんでした。

私は33年間、韓国通信に勤めていたので、今後うちの教会の聖殿を建築する時にささやかながら力になろうと、通信や放送に関連した資格を七つ取得しました。2年前からは、業界で最高の資格と言える情報通信技術士の資格を取るために勉強していました。

ところが「なぜこんなことが起こったのだろうか」と探り窮めてみると、この分野に資格証をいくつも持っている人が珍しいので、いつの間にか高ぶっていたのでした。初めは神の国のためのことでしたが、自分の自慢と欲のためのことになってしまったし、ついに主日も守らないで、ダニエル徹夜祈禱会も休んで勉強にしがみついていたのです。

こんな愚かな自分の姿を発見して、痛恨の涙が流れました。私は堂会長イ・ジェ



チェ・ペクホ執事と妻パク・ヘギョン勸士(61歳、2大大14教区)

ロク牧師先生の説教で信仰の基礎的なメッセージを聞いて、自分の心を照らし始めました。家族や周りの人たちを愛せなくて、自分の主張を押しつけていたことを悔い改め、説教後にされる堂会長先生のいやしの祈りを信仰によって受けました。

すると急速に良くなって、1か月後からはゆっくり歩けるようになり、1か月半ぶりに自分で歩いて退院しました。回復がとても速くて、担当医師が学会に資料として提出すると言うほどでした。ただし完全に麻痺してから戻った体なので、歩く時に足を引かずって階段を上がり下がりするの

が非常につらかったのです。

私は完全にいやされようと、神様にさらに頼りました。「2015年万民夏のキャンプ」を1か月後に控えて「十字架のことば」「愛の章」「御霊の九つの実」「八つの幸い」「信仰の量り」「天国」「地獄」のメッセージを聞き始めました。多くのことを悟りながら心を砕いて罪を告白しました。

成長過程で両親から温かい愛をもらえなくて育ったからなのか、家族に愛を表現することを知らなかったし、自分のやり方にこだわって、思いどおりにならなければ憤るなど、間違っていたことが多かった

のです。毎日、悔い改めの涙を流すばかりでした。

ついに今年8月3日、キャンプ初日のいやしの集会の時、堂会長先生が全体のために祈られた時でした。まるで赤ちゃんがうんと伸びをするように、右腕と足に力がぐっと与えられ、体が震えるほど上から力が注がれました。感激しているうちに自分でも知らない間にすっと立ち上がり、証して栄光を帰すために講壇に上がっていました。足を全然引きずらないでさっそうとです。

その翌日には、ひとりで階段もさささと上がるようになりました。その後も、神様はその日伸びをしたような感じを何回も感じるようにして、私をさらに強くしてくださいました。ハレルヤ!

このように神様の愛と力を体験した後、私の信仰は新しくなったし、毎日毎日以前とは全く違って感謝があふれています。ヒゼキヤ王が神様により頼んだとき、死の直前で命を延長していただいたように、私も第二の人生をプレゼントされたのです。

再創造のみわざが現れる初めの声で私を変えさせてくださり、最もすばらしい天国、新しいエルサレムまで導いて行かれる三位一体の神様に、すべての感謝と栄光をお帰します。

## 「いくつも病気がいやされて まことの平安と幸せを得 ました」



母、息子とともに  
ブサバ・アマラクワタナクン聖徒  
(34歳、タイ・チェンライ万民教会)

2014年10月、私はチェンライ万民教会に通うことになり、GCN(www.gcnetv.org)の生放送でソウルの万民中央教会礼拝をささげることができました。小さい時から教会に通っていても、みことばに込められた霊的な意味を正しく知らなかったのですが、完全に主日を守ることと十分の一献金をことごとくささげること、十戒など、神様の良きみこころを明らかに知っていき、毎日ダニエル徹夜祈禱会に参加して絶えず祈るので信仰生活が幸せでした。

1か月の後の11月には、主日礼拝の時、映像でイ・ジェロク先生のいやしの祈りを受けた後、10年もの慢性的な頭痛と14年もの腰痛がいやされました。このような体験を通して、口数が少なく、ひとりであるのが好きで、考えすぎで人によく傷つけられていた私が変わられて、時間があるとは周りの隣人や知り合いを伝道する人になりました。

家庭でも息子と実家の母が伝道されて一緒に信仰生活をしているのですから、本当に感謝です。息子は私に似て言葉が少なく、内気で他の人には全く関心がなくて

自己中心的だったのに、今は積極的な性格に変えられて、教会の周りの村に通って大胆に伝道しています。毎日ダニエル徹夜祈禱会に出席しているのはもちろん、礼拝前に席を整えるなど、奉仕を喜んでする子に変えられたのです。

2015年5月にはイ・ヒソン牧師先生(万民全支教会総指導教師)をお迎えしてハンカチ集会が開かれましたが、先生が堂会長先生に祈りを受けたハンカチ(使徒19:11~12)で私に祈ってくださった後、13年前からあった冷え症、おりのものがいやされました。

今年の8月には「2015年万民夏のキャンプ」に参加しようとソウルの万民中央教会を訪問して、さらに天国の望みで満たされるようになりました。また、堂会長先生と握手をして悪はどんな悪でも避けたいと切に思うようになり、変えられるという自信をいただきました。この他にもトンボ、虹、天上の風など、様々な不思議としるし、神の力を体験して、信仰が成長するきっかけになりました。ハレルヤ!

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会  
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4  
T) 0265-56-8286  
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会  
〒465-0014 名古屋市長東区上菅 1-916  
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会  
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4  
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会  
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41  
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会  
〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15  
T) 072-220-5289  
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会  
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23  
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会  
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F  
T) 03-3809-3326  
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会  
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343  
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会  
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138  
T) 0773-75-5656  
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会  
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206  
T) 0866-57-9691

・イエス・キリスト東京万民教会  
(東京万民宣教センター)  
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13  
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沖縄万民教会  
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号  
T) 098-988-9472